



愛と正義のあふれる学校

「しぶかわ」



2学期 地域とともにある学校 創立145周年行事 令和元年プロジェクト「渋川の未来を語る会」

去る11月21日（木）、本校体育館で、全校生及び保護者の皆様、地域の皆様とともに、「渋川の未来を語る会」を開催しました。子どもたちが生きる時代は、「狩猟社会」「農耕社会」「工業社会」「情報社会」を経て、人類至上5番目の新しい社会「ソサエティ5.0」超スマート社会到来と言われ、AI（artificial intelligence 人工知能）による社会の変革は、教育の世界にも大きな期待と改革を求めています。学校は、何を、どのように学び、どんな力が身に付いたのか、「主体的・対話的で深い学び」を通して、子どもたちの資質・能力の育成、中でも学びに向かう力、人間性等の涵養が求められる時代となりました。

そこで、令和の時代を迎え、新学習指導要領及び教科書が変わるこの機会に、渋川地区及び渋川小学校の未来をともに語り合うことは、これからの変化の激しい社会を生きぬく上で、大きな意義があるものと考え、歴代PTA会長会の皆様の御協力を得ながら開催する運びとなりました。

当日は、6年生の司会進行のもと、話題提供者として、修学旅行でインタビュー活動してきた6年生によるプレゼンテーション（会津若松市と二本松市の街作り）を行い、参加者全員で、「現在の扉」「過去の扉」をひもとき、「未来の扉」に思いを馳せることができました。

御参会いただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げます。御協力ありがとうございました。



【7つのテーブルを作りグループになって6年生の司会進行によりみんなで語り合いました！】

